

北海道大学大学院保健科学院の指導教員及び研究指導に関する申合せ

平成29年2月16日
学院教授会

(趣旨)

第1条 この申合せは、北海道大学大学院保健科学院規程（平成20年4月1日海大達第85号、以下「学院規程」という。）第10条及び第11条の規定及び北海道大学大学院における研究指導に係る基本方針に基づき、北海道大学大学院保健科学院（以下「本学院」という。）における研究指導に係る指導体制及び研究指導の取扱いについて必要な事項を定めるものとする。

(指導教員)

第2条 指導教員は、本学院の専任教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第3条第2号に該当する特任教員を含む。以下同じ。）及び大学院連携分野教員とし、博士課程の修了に関して、学院規程第8条及び別表に規定される研究指導科目を担当するとともに、大学院生に対して、必要な研究指導を行うものとする。

2 主任指導教員及び副指導教員は、指導教員から選出されるものとする。

3 主任指導教員は、大学院生の受け入れを行い、大学院生の履修科目、履修方法並びに研究方法等の指導を主体的に行う者とする。

4 主任指導教員となることのできる者は、本学院の教授、准教授又は大学院連携分野教員とし、大学院教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者であり、原則として、博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。以下同じ。）を有するものとする。

5 副指導教員は、主任指導教員が受け入れた大学院生の履修科目、履修方法並びに研究方法等の指導を行うものとする。

6 副指導教員となることのできる者は、大学院教育を担当するにふさわしい教育上の能力を有すると認められる者であり、原則として、博士の学位を有するものとする。ただし、講師及び助教については、次条による副指導教員の資格審査を経て、副指導教員の資格を確認できた者とする。

(副指導教員の資格審査)

第3条 領域責任者は、副指導教員の資格を取得させようとする者（以下「資格審査対象者」という。）について、次に掲げる書類を、大学院保健科学院長（以下「学院長」という。）に提出するものとする。

(1) 副指導教員の資格審査申請書（別紙様式第1号）

(2) 教育研究業績書（別紙様式第2号）

(3) 教員採用基準計算書（別記様式）

2 前項において資格審査対象者としてすることができる者は、講師及び助教とする。

3 学院長は、第1項により申請があった場合は、「大学院保健科学研究院教員候補者選考に係る任用ガイドライン」（平成30年2月15日一部改正（平成30年4月1日適用））に規定される准教授以上の教員採用基準を満たすことを確認したうえで、学院教授会に審査を委託するものとする。

4 学院長は、前項による審査の結果を、別紙様式第3号及び別紙様式第4号により領域責任者及び資格審査対象者に通知するものとする。

(指導教員の決定)

第4条 主任指導教員は、博士課程の1年次1学期末までに学院教授会において決定されるものとする。

- 2 副指導教員は、研究指導を受けようとする大学院生との合意に基づき、指導教員から2名を上限として選出され、博士課程の1年次終了時までに学院教授会において決定されるものとする。
- 3 前項において、2年次以降に副指導教員を追加する必要がある場合は、副指導教員として担当する研究指導の期間が1年以上となる場合に限り、学院教授会の承認に基づき、これを認めることができるものとする。
- 4 主任指導教員の転出若しくは病気等により研究指導を継続できないとき又は学生の真にやむを得ない理由により指導教員を変更する場合は、学院教授会において、当該学生に係る研究指導状況を勘案して後任者を選考するものとする。

(修士課程の研究指導)

第5条 第2条第2項により選出された指導教員は、大学院生に対して適切な研究指導を行い、随時又は定期的にその修学状況を確認するものとする。

- 2 主任指導教員は、学生の研究課題の遂行のため、別紙様式第5号により1年間の研究指導計画を作成し、当該学生にあらかじめ明示するとともに、毎年5月末日までに、学院長に提出しなければならない。
- 3 主任指導教員は、原則として、学位論文等の提出の6箇月前までに研究成果の中間報告会を開催するものとし、大学院生に対して、研究方法等における助言及び指導をするものとする。
- 4 前項の中間報告会は、受け入れた大学院生毎、又は複数の大学院生に対して合同で実施するものとする。
- 5 主任指導教員は、当該学生の研究指導に当たり、その内容について変更が生じた場合は、別紙様式第6号の研究指導変更計画書を作成し、速やかに学院長に提出しなければならない。
- 6 主任指導教員は、当該学生の研究指導が終了した場合は、別紙様式第7号の研究指導実績報告書を作成し、当該学生の修了予定年次の3月末日までに学院長に提出するものとする。ただし、修業年限を超えて在学する者に係る研究指導実績報告書の提出については、修業年限を超えて在学する年度の9月末日とすることができる。
(2) 研究指導実績報告書の研究指導の概要には、当該学生の学位論文又は特定の課題についての研究の成果の概要の添付をもって代えることができる。
- 7 主任指導教員は、学位論文等の提出前までに学位論文等の予備審査を行うものとする。

(博士後期課程の研究指導)

第6条 第2条第2項により選出された指導教員は、大学院生に対して適切な研究指導を行い、随時又は定期的に修学状況を確認するものとする。

- 2 主任指導教員は、学生の研究課題の遂行のため、別紙様式第5号により1年間の研究指導計画を作成し、当該学生にあらかじめ明示するとともに、毎年5月末日までに、学院長に提出しなければならない。
- 3 主任指導教員は、原則として、学位論文の提出の1年6箇月前までに研究成果の中間報告会を開催するものとし、大学院生に対して、研究方法等における助言及び指導をするものとする。

- 4 前項の中間報告会は、受け入れた大学院生毎、又は複数の大学院生に対して合同で実施するものとする。
- 5 主任指導教員は、当該学生の研究指導に当たり、その内容について変更が生じた場合は、別紙様式第6号の研究指導変更計画書を作成し、速やかに学院長に提出しなければならない。
- 6 主任指導教員は、当該学生の研究指導が終了した場合は、別紙様式第7号の研究指導実績報告書を作成し、当該学生の修了予定年次の3月末日までに学院長に提出するものとする。ただし、修業年限を超えて在学する者に係る研究指導実績報告書の提出については、修業年限を超えて在学する年度の9月末日とすることができる。
(2) 研究指導実績報告書の研究指導の概要には、当該学生の学位論文又は特定の課題についての研究の成果の概要の添付をもって代えることができる。
- 7 主任指導教員は、学位論文の提出前までに学位論文の予備審査を行うものとする。

(雑則)

第7条 この申合せに定めるもののほか、指導教員及び研究指導に関し、必要な事項は、学院教授会の議を経て学院長が別に定める。

附 則

この申合せは、平成29年2月16日から施行する。

附 則

この申合せは、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この申合せは、令和3年11月12日から施行する。

附 則

この申合せは、令和3年12月16日から施行する。

副指導教員の資格審査申請書

申請年月日 年 月 日	
大学院保健科学院長 殿	
領 域 名：_____科目群 領域責任者氏名：_____	
副指導教員の資格について、下記のとおり申請します。	
1. 資格審査対象者	
所属分野等名	
職 名	<input type="checkbox"/> 講師 <input type="checkbox"/> 助教
氏 名	
2. 課程・担当科目	
<input type="checkbox"/> 修 士 課 程	
担 当 科 目	
<input type="checkbox"/> 博 士 後 期 課 程	
担 当 科 目	
3. 教授会附議希望日	令和 年 月 日
4. 備 考	

注) 教授会附議希望日の3週間前までに提出すること。

注) 資格審査対象者における教育研究業績書（別紙様式第2号）及び教員採用基準計算書（別記様式）を添付すること。

教 育 研 究 業 績 書

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日

氏名 〇 〇 〇 〇

教 育 上 の 能 力 に 関 す る 事 項

	事項	年月日	概 要
1	教育方法の実践例		
(1)	学生による〇〇〇学習発表の実践	平成〇〇年〇月。
(2)	△△△を用いた〇〇学実習	平成〇〇年〇月。
	<p style="color: red; font-size: small;">優れた教育方法の実践例，マルチメディア機器を活用した授業，授業外における学習促進のための取組，WEB上での授業内容の公開，他の教育機関での教育経験などを記載願います。</p>		<p style="color: red; font-size: small;">教育上の能力に関する事項の概要について，事項ごとに具体的に記入してください。</p>
2	作成した教科書，教材		
(1)	〇〇学のための補助教材	平成〇〇年〇月～ 現在。
(2)	△△実験マニュアル	平成〇〇年〇月〇 日。
3	教育上の能力に関する大学等の評価		
(1)	学生による授業評価	平成〇〇年〇月。
(2)	〇〇大学自己点検評価	平成〇〇年〇月。
	<p style="color: red; font-size: small;">各大学における自己点検・評価結果，学生による授業評価，教員による相互評価等，過去に受けた設置審による評価等について記載願います。</p>		
4	実務の経験を有する者についての特記事項		
(1)	<p style="color: red; font-size: small;">企業内教育，大学公開講座・社会教育講座の講師，シンポジウムにおける講演等，教育にかかる経験を記載願います。</p>		
(2)			
5	その他		
(1)	<p style="color: red; font-size: small;">1～4以外で教育に関する事項について記載願います。 (国家試験問題作成，FD参加実績など)</p>		
(2)			

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格, 免許		
(1) 看護師免許 (第××××号)	平成〇〇年〇月	厚生労働大臣が与える看護師としての資格
(2) 助産師免許 (第××××号)	平成〇〇年〇月	厚生労働大臣が与える助産師としての資格
2 特許等		
(1)		
(2)		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
(1)		
(2)	<p>臨床経験, 大学との共同研究, 企業・官公庁等の研究者, 各種審議会・行政委員会等委員, 研究者としての留学・海外事情調査, 国際援助・開発等について記載願います。</p>	
4 科学研究費等外部資金獲得状況 (過去10年間)		
(1) 文部科学省科学研究費基盤研究 (C) 「〇〇の△△障害に関する臨床的, 疫学的研究」	平成〇〇～〇〇年度	研究代表, 2,500千円 <p>金額は全期間の合計を記載して下さい。</p>
(2) 文部科学省科学研究費基盤研究 (B) 「〇〇における××と△△に関する基礎的研究」	平成〇〇～〇〇年度	研究分担, 1,200千円 (分担金) <p>分担者の場合, 金額は配分を受けた全期間の分担金の合計を記載し, (分担金) と記入して下さい。 分担金が不明な場合は, 研究代表者が受けた全期間の合計を記載し, (総額) と記入して下さい。</p>
(3) 日本〇〇財団奨励研究助成 「△△細胞による□□発症モデルの確立と発症機構の分子生物学的解析」	平成〇〇年度	研究代表, 1,000千円
5 その他		
(1)		
(2)	<p>1～4以外で研究に関する事項について記載願います。 (論文の引用実績, 研究成果を利用した社会貢献活動等)</p>	

研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項					
著書, 学術論文等の名称		単著・ 共著の別	発行又は発表 の年月	発行所, 発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)					
(1)	〇〇学概論	共著	平成〇〇年〇 月	□□出版社 (p 55- p 80) <u>北海太郎</u> , △△△子
(2)	□□□ガイド	単著	平成〇〇年〇 月	△△書店 (p 1- p 120)
古いものから順に記載して下さい。					
(学術論文)					
(1)	〇〇〇解析における× ×法の検討	共著	平成 13 年 8 月	□□□学会誌 第 10 巻第 8 号	〇〇〇解析のために××法を開発し, その方法の実証を△△を用いて〇〇〇解析が可能であることを示した研究。 (p 15- p 20) ×××男, <u>北海太郎</u> , △△△子
(2)	Study of	共著	2002. 2.	J. Med. Vol. 56, No. 2	〇〇〇である△△を, ××法を用いて検出, 定量的な解析を行った。〇〇が□□であることを初めて示した。 (p 25- p 32) 〇〇〇〇, △△△△, <u>Hokkai T.*</u>
(3)					応募者が論文の連絡著者の場合には, 氏名の後に*印を付けて下さい
(4)					
(5)					
(その他)					
(解説等)					
(1)					
(研究報告書)					
(1)					
(学会報告)					
(1)	〇〇〇解析における× ×法の検討	共著	平成〇〇年〇 月	第〇回日本〇〇学会 (東京都)	〇〇〇解析のために××法を開発し, その方法の実証を△△を用いて〇〇〇解析が可能であることを報告した。 <u>北海太郎</u> , 〇〇〇〇

副指導教員の資格審査結果通知書

年 月 日

○○○○科目群領域責任者

○ ○ ○ ○ 殿

大学院保健科学院長

【承認となった場合】

先に貴職から申請のありました副指導教員の資格審査申請について、審議した結果、下記のとおり承認されましたので、通知します。

なお、資格審査対象者には別途通知している旨申し添えます。

記

資格審査対象者名	所属分野等名	職名	課程
○ ○ ○ ○	○○○○分野	○ ○	<input type="checkbox"/> 修士課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程

【不承認となった場合】

先に貴職から申請のありました副指導教員の資格審査申請について、審議した結果、承認に至りませんでしたので、通知します。

なお、資格審査対象者には別途通知している旨申し添えます。

副指導教員の資格審査結果通知書

年 月 日

〇〇〇〇分野

〇〇 〇 〇 〇 〇 殿

大学院保健科学院長

【承認となった場合】

先に貴領域責任者から申請のありました副指導教員の資格審査申請について、審議した結果、下記のとおり承認されましたので、通知します。

記

課 程	備 考
<input type="checkbox"/> 修 士 課 程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程	令和〇〇年〇〇月〇〇日承認 (保健科学院教授会)

【不承認となった場合】

先に貴領域責任者から申請のありました副指導教員の資格審査申請について、審議した結果、承認に至りませんでしたので、通知します。

別紙様式第5号（第5条，第6条関係）

研究指導計画書

年 月 日

保健科学院長 殿

主任指導教員 _____

学生番号 _____

ふりがな

氏名 _____

所属専攻	保健科学専攻
研究題目	
年度 研究指導計画	
研究指導計画	

研究指導変更計画書

年 月 日

保健科学院長 殿

主任指導教員 _____

学生番号 _____

ふりがな

氏名 _____

所属専攻	保健科学専攻
研究題目	
年度 研究指導計画	
変更後の 研究指導計画	

研究指導実績報告書

年 月 日

保健科学院長 殿

主任指導教員 _____

学生番号 _____

ふりがな

氏名 _____

所属専攻	保健科学専攻
研究題目	
研究指導実績	
研究指導の概要	
特筆すべき事項	